

『地球をほる』
川端 誠/作
BL出版 E/チ

地面にあなをほって、地球のうらがわへ旅行にいくことにしたつよしとけんた。ほるにしたがって、本も少しずつ回転！？とても楽しいぼうけんの本です。



『かあちゃん取扱説明書』
いとう みく/作 佐藤 真紀子/絵
童心社 F/イ

哲哉(てつや)のかあちゃんはいつもの口うるさいです。とうちゃんから、かあちゃんのおつかい方を聞いた哲哉は、かあちゃんのお取扱説明書を作ろうと考えました。



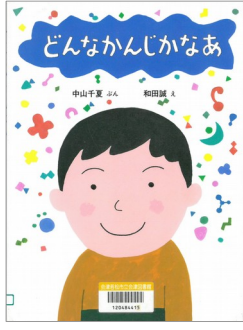
『しゃべる詩あそぶ詩きこえる詩』
はせ みつこ/編 飯野 和好/絵
富山房 911/シ

言葉遊びみたいな詩、はずむようなテンポの詩、耳に心地良い詩。みんな、声に出して読んでみよう。「詩」ってこんなに楽しい！



『どんなかんじかなあ』
中山 千夏/ぶん 和田 誠/え
自由国民社 E/ド

目が見えない、耳が聞こえない…どのようなかんじなのでしょう。目を長くしてじつたり、いつもより耳をすませてみてください。知らなかった世界に気がつけるかもしれません。



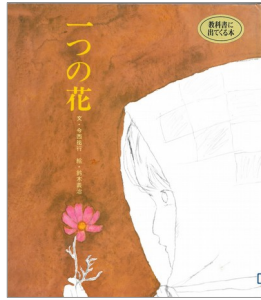
『注文の多い料理店』
宮沢 賢治/作
池田 浩彰/絵
講談社 E/チ

山の中でまよっている、りっぱな料理店がありました。入っていくと「注文が多いですがごしょうください」と書いてあり、注文のとおり部屋を進んでいくと…。



『百まいのドレス』
エレナー・エステイス/作
石井 桃子/訳
ルイス・スロボドキン/絵
岩波書店 933/エ

いつも同じ服を着ているワンダ。「ドレスを百まいもってる」と言いますが、だれも信じてくれません。そればかりか、毎朝からかわれるようになってしまい…。



『一つの花』
今西 祐行/文 鈴木 義治/絵
ポプラ社 E/ヒ

小さなゆみ子が初めておぼえた言葉は「一つだけちょうだい」。お父さんが戦争に行く日、「一つだけ」と泣くゆみ子にお父さんがくれたのは、一輪のコスモスの花でした。



『たかこ』
清水 真裕/文 青山 友美/絵
童心社 E/タ

ぼくのクラスにやって来た、少し変わった転校生のたかこ。遠足の日、かみなりが鳴り、ひょうがふってきた。そんな時、たかこが取った行動とは。

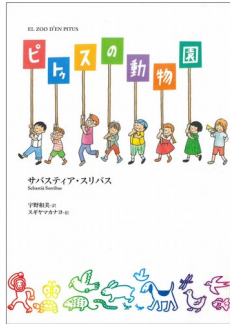


『大どろぼうホッツェンプロッツ』
プロイスラー/作 トリップ/絵
中村 浩三/訳 偕成社 943/ブ

おばあさんの大切なコーヒーひきを取りもどせ！カスパールとゼッペルはわなをしかけ、大どろぼうにいどみますが、そうかんたんにはいかなくて…わくわく楽しい、ぼうけんのお話です。

『ピトゥスの動物園』
サバステア・スリバス/著
宇野 和美/訳 スギヤマ カナヨ/絵
あすなろ書房 959/ス

病気になってしまったピトゥスのために、仲間たちは動物園をつくらうと集まりました。一日だけの動物園づくりは、町の大人たちもまきこんで、大きなイベントになっていきます。



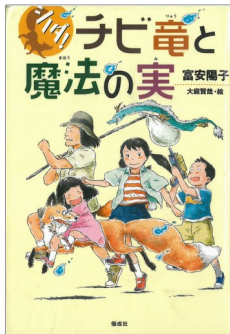
『しっばいにかんぱい！』
宮川 ひろ/作 小泉 むみ子/絵
童心社 F/ミ

小学校の運動会のリレーでしっばいをしてしまった加奈。朝ごはんも食べられないくらい落ちこんでまわっている加奈を救ってくれたのは、おじいちゃんからの電話がきっかけでした。



『チビ竜と魔法の実』
富安 陽子/著 大庭 賢哉/絵
偕成社 F/ト

パパは人間、ママはキツネ、そしてちょっと不思議な力をもつ三人の子どもたち。そんな信田(しのだ)家には、トラブルがつきもの。ある日、チビ竜がおふろ場に住みついて…。



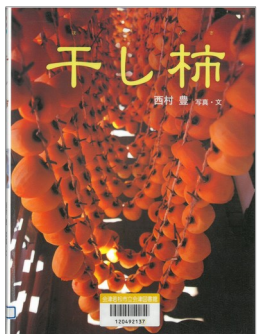
『ルドルフとイッパイアッテナ』
斉藤 洋/作 杉浦 範茂/絵
講談社 F/サ

ひよんなことからトラックに乗ってしまい、大都会に来てしまったネコのルドルフ。トラックから出たルドルフは大きなトラネコのイッパイアッテナに出会います。



『干し柿』
西村 豊/写真・文
あかね書房 E/ホ

そのままでは食べられないしぶ柿。でも、皮をむいて干すと、お日さまと風の力で、やさしいあまの干し柿にへんしんします。昔の人のちえって、すごい！



『ぼくとあいつのラストラン』
佐々木 ひとみ/作 スカイエマ/絵
ポプラ社 F/サ

大好きなジイちゃんが死んでしまった。ジイちゃんとの別れの日、「おい、走ろうぜ」と言って走り出したあいつは、もしかして…。大切な人から受けとった気持ちを強く思っ、ぼくは走り出す。



『赤毛軍団のひみつ 名探偵シャーロック・ホームズ1』
コナン・ドイル/作 岩淵 慶造/絵 岩崎書店 933/ド-1

赤毛軍団に入るためには、かみの毛がまっ赤でなくてはなりません。軍団に入ったものの、すぐに赤毛軍団は消えてしまいます。あなたはホームズより先にこのナゾをとき明かせますか？



『ぼくがラーメンたべるとき』
長谷川 義史/作・絵 教育画劇 E/ボ

ぼくがラーメンを食べているとき、みんなは何をしているのだろう。テレビを観てる子、野球をしてる子、お仕事している子。今この時も、世界のどこかではこんな事が起こっているのかもしれない。

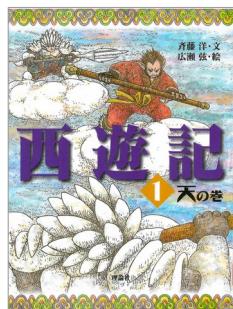
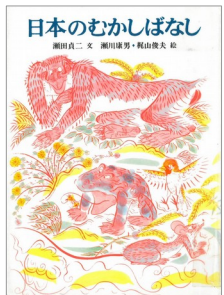


『やさしいはいきている』
そだててみようやさしいのきれはし』
藤田 智/監修 岩間 史朗/写真撮影
ひさかたチャイルド 626/ヤ

料理で使われなかった野菜のきれはしは、すぐにすててしまいますね。すてる前に水につけてみてはいかがでしょう。野菜の生命力がわかります。

『日本のむかしばなし』
瀬田 貞二/文 瀬川 康男/絵
梶山 俊夫/絵 のら書店 F/セ

「花さかじい」「ねずみのすもう」「三まいのおふだ」など、昔から語りつがれている、よく知られた日本の昔話が13話はいつています。絵本で読んだことがあるお話を、物語として楽しめます。



『西遊記1 天の巻』
吳 承恩/[作] 斉藤 洋/文
広瀬 弦/絵 理論社 923/ゴ-1

山のてっぺんの大きな石から生まれたサルの名前は、孫悟空(そんごくう)。生まれながらの力を上達させて、さらには不老不死になって、地上や天界であばれまわります。



『はてなとてん』
川端 誠/[作]
クレヨンハウス E/ラ

どこへ行っても「あれ買って、これ買って」とこまらせる金坊(きんぼう)。ある日、お父さんといっしょに初天神へ出かけ、大きなこを買ってもらいました。でも、たこに夢中になったのは金坊ではなく…。

ほん おすすめの本 3・4年生



会津若松市立会津図書館



『魔女の宅急便』
角野 栄子/作
林 明子/画
福音館書店 F/カ

ひとり立ちした魔女のキキが、黒ねこジジと共にたどり着いた場所は、高い時計台のあるコリコの町でした。時には落ちこみつつも、成長していくキキに、元気をもらえます。



『赤毛のアン』
L.M. モンゴメリ/作 村岡 花子/訳 HACCAN/絵
講談社 933/モ-1

マッシュとマリラの兄妹の元にやってきた赤毛の女の子・アン。想ぞう力ゆたかでおしゃべりなアンは、時にさわぎを起こしつつ、関わるみんなを幸せにしてくれます。